

綾瀬の ルーツを 探る



厚木基地

五 戦争と復興

昭和の時代に入ると、日本は戦争へと進みます。突如として厚木飛行場が作られることになり、整備のために人口が急増したため、綾瀬町となりました。敗戦後、復興に向かう中で朝鮮戦争が始まり、基地は米海軍厚木航空基地として機能強化されました。



綾瀬小学校

(写真：綾瀬小学校蔵)

四 近代化への道

明治時代に町村制が施行されたことにより、8か村が合併し、1889年に綾瀬村が誕生しました。近代化が進む一方、関東大震災では甚大な被害を受けました。

綾瀬の歴史は深く、遡ること4万年。果たして、綾瀬市が誕生するまでのような変化を遂げてきたのでしょうか。



相模一国之図

(写真：神奈川県立金沢文庫蔵)

三 武士の支配

江戸時代である約400年前には、徳川将軍の直臣である旗本を中心に、綾瀬8か村の領主となりました。また、新田の開墾が盛んに行われました。



神崎遺跡

一 綾瀬の始まり

約4万年前の旧石器時代に初めて人が住み始めました。約1800年前の弥生時代には東海地方の人々が吉岡に移住してきたことが分かっています。古墳時代から進められてきた開墾は拡大し、綾瀬には人が増えていきました。



早川城跡

二 渋谷荘の世界

800年ほど前の鎌倉時代になると、御家人・渋谷氏が治めていました。約500年前には戦国大名・北条氏が支配するようになりました。

